

# 神杉自治連だより

## 令和4年度神杉地区防災訓練実施

神杉自主防災会（会長 有田雅俊）は、7月10日（日）第8回防災訓練を行いました。

第7回までは毎年12月の第2週目の日曜日に行っていました。暖かい時季に行ってほしいとの意見を尊重し、今年はいろいろな行事を考慮し7月に実施しました。また、今までは、大雨洪水を想定して訓練を行っていましたが、最近南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくないとの報道がさされていることもあり、今回は大規模地震を想定した訓練を行いました。それに付随し、揺れの模擬体験ができる起震車を広島市から借用しました。

当日は、8時20分に地震が発生したことを起点に、8時30分に地域住民の安否確認を行い、地域避難所へ防災バッグをもって非難を行い、その結果を防災委員が防災本部へ報告。その後、各地区から代表者が小学校体育館へ集合しました。



体育館では4つのエリアに分かれ、起震車による震度6強の揺れを体験、消防署による心肺蘇生とジャッキの使い方、消防団、防災士の指導によりロープ結びをそれぞれ体験しました。

その後、消防署より南海トラフ地震の状況、地震に対する対応の必要性、具体例などの講話を行っていただき、有意義な講話でありました。

山田三次市危機管理監の講評をいただき訓練は終了しました。

今一度地震に対する備えとして、寝室にはできるだけ家具を置かないこと。家具には転倒・落下防止策を施し、家庭でできる対策は実施して行きましょう。

参加者の方からは、最近あちこちで大規模地震が起こっているが、起震車で震度6強が実際にどれくらい揺れなのか体験できて良かった。

震度6では立ち上がることも固定されていない机の下へもぐることもできない。

家の中の家具は全て固定できるものではないが、自分でできることは

やっておいて、有事の際慌てないようになりたい。などと感想を言っておられました。



ただ今震度6強を体験中



神杉地区  
自治会連合会  
TEL 66-1323  
2022/8/10発行  
7月末(前月比)  
人口1,500(+4)  
世帯598(+2)  
ホームページ  
kamisugi@m-city.jp



力を合わせてテント設置



ジャッキアップ訓練

## 自助・共助（互助）がまず大事



リズムよく心肺蘇生訓練



用途様々なロープ結び

最後に三次消防署の皆さん、三次市危機管理課の皆さんには大変お世話になりました。各地区からの参加者の皆さんも暑い中、お疲れさまでした。

今回の反省が有事の際に生かされるよう各地区でも話し合いを重ねて、スムーズに行動できるよう改善していきましょう。

### 連絡事項

今年度から基幹避難所が小学校体育館に変更されました。コミュニティセンターでは2階に非難することに限界があることで変更になったものです。

## まちづくりトーク

### 「10年後の三次の姿」 元気な三次づくりに必要なものは？」



7月21日（木）、令和4年度市政懇談会まちづくりトークが、2年ぶりに対面式で開催されました。

三次市から福岡誠志市長を始め、副市長、教育次長、危機管理監等6名が出席され、神杉地区住民が約30名参加してと熱心に懇談されました。

三次市から「10年後の三次の姿」元気な三次づくりに必要なものは？」をテーマに主な施策を説明され質疑に入り、参加者からは、10年後の人口の推移や人口対策について、有害鳥獣対策や高齢者の免許返納に関する質問が出ました。

また、三次市に女子野球チームを作って市全体で盛り上げていけば、三次市がもっと元気になるのではないだろうか。などの提案もありました。

福岡市長は、「人口増加を目指すのは難しいが、世代間のバランスを考えた目標を設定し、取り組みをすすめたい。」と答えられました。

コロナ禍で2年ぶりの対面式トークでしたが、参加者からは、同じ空間で顔を見て直接話ができることはお互いの意思や思いが伝わりやすいのでとても良かった。と好評でした。

## 平和を願って慰霊の集い



神杉地区自治会連合会（社会福祉部会部長 住田彰直）は神杉地区遺族会と共に、毎年8月6日平和と戦没者慰霊の集いを開催しています。

コロナ感染症拡大のため、当初予定していた被爆体験伝承者の方を講師に招いての平和学習は中止しましたが、慰霊の集いへは約40名の方が参列され、有田

雅俊自治連会長の式辞、小田義則遺族会会長の平和宣言、小学校児童会代表山田蓮人君が誓いの言葉を宣言されました。

有田自治連会長は、「今、世界を不安定にしているのは核軍備拡張競争であり、廃絶に向けた核軍縮こそ、人類の平和共存への道が開けると信じている。」「原爆の地広島から全世界に向け、核兵器のない世界の実現に向けて、核兵器廃絶を訴える意義は大きい。私たち一人ひとりが平和の尊さについて考え、次世代へ継承し、地道に取り組みをしていくことが大切。」と述べられました。



参列された皆さんは、今ある平和の尊さを噛みしめ、戦争犠牲者の御霊が安らかに眠られることを祈念して、折り鶴奉獻と献花をしました。

## 神杉わくわく講座開講しました

7月11日（月）、令和4年度神杉わくわく講座が32名の受講者の参加のもと開講しました。コロナ禍のため小学校の体育館で暑い中にもかかわらず、第1部は小学校6年生の鼓笛演奏をかわきりに、有田雅俊自治連会長の開講のあいさつ。続いて事務局から今年度7回の講座の説明が行われました。

第2部は、小学校の赤木 実校長先生から、小学校におけるタブレットを使用した児童と先生との授業、情報共有の話をお聞きしました。

昔のような黒板を使用した授業ではなく、児童と先生の情報がタブレットを通じて一目でき、意見交換が速やかに行われ、情報の共有がお互いに確認できるとのことでした。



その後、受講者は小学校からタブレットを借用し、実際に使用して研修を行いました。日頃スマホの操作のあやふやな受講者も「若い者は、負けられん」とばかり熱中して取り組んでおられ、体育館には熱気が漂っていました。この調子で今後の講座も頑張っていたいただきたいと思います。

尚、わくわく講座では随時講座生を募集しています。詳しくは神杉自治会館までお問合せください。

## 鮎のつかみ取り体験実施

7月15日(金) 公衆衛生推進協議会(会長 新川誠司)は、小学校4年生を対象に、2回目の水辺の教室を開催しました。

1回目の水辺の教室は、芋面川の河口付近で水生生物を採取しての水質調査でしたが、今回は江の川漁協様の協力により鮎のつかみ取りを体験しました。青いビニールシートで水槽を作り、鮎を放流すると子どもたちは元気いっぱい鮎を追いかけ、掴んだ鮎をおそろおそろ自分で竹串に刺し、塩を付けて炭火で焼いて美味しくいただきました。



子どもたちの感想は、掴み取りは初めてで、とても楽しかった。鮎はキュウリの匂いがした。掴まえるときは首を掴むのが良い。焼き魚は苦手だったけど、友達と食べるとおいしかった。等たくさんありました。

2回の水辺の教室を通して子どもたちは、命の大切さと、それぞれの生物が生きていくためには川の水質をきれいにすることが大事であることを、改めて認識しました。

## 星空映画館 ナイトシアター

子どもたちの夏休みのお楽しみである星空映画館ナイトシアターが、7月22日(金)に開催されました。当日は、午前中から怪しい空模様で午後5時の準備の直前まで悩みに悩み、スマホの天気予報とにらめっこ。きつと8時頃は大丈夫!!と判断し、外での開催を決めました。すると予感的中!!徐々に雲は取れ星も出てまさに本当の星空映画館になりました。

会場の小学校グラウンドには、約100名の来場者が夕涼みがてら集まり、青少年育成神杉町民会議会長の内藤隆弘さんのあいさつで開会しました。

内藤さんは、今年は川や海での水の事故が多発しているの、危ないところでは遊ばないようにはしましょう。と注意を呼びかけ、今日のナイトシアターを夏休みの思い出にしてほしい。とあいさつされました。

映画が始まると来場者は、日ごろは大型スクリーンではなかなか見ることができないので、大画面と大音量の迫力に引き込まれていました。

コロナ禍で、様々なイベントが中止や規模を縮小して開催されていますが、長年続いているこのナイトシアターを今年も開催できて本当に良かったです。

来年もお楽しみに!!



## キッズチャレンジ① 憩いの森へレッツゴー

7月26日(火) 尾首山憩いの森でキッズチャレンジを行いました。小学生3名の児童が参加してくれました。

前半は全体を6班に分け、3グループは焚火でおやつ作り挑戦、残りの3グループはウォークラリーをして、両グループ交代で行い、全員がそれぞれ体験しました。

焚き火でおやつ作りは、マッシュマロ、ビスケット、キャラメル、チョコレートなどを用意し、串に刺して焼いてビスケットでサンドして食べたり、チョコをつけたりして楽しみました。子どもたちのアイデアがキラッと光っていました。



後半は全員で冒険の森へ行き、滑り台、ハンモック、滑車体験など無邪気に声をはずませて、ストレス解消となつたに違いありません。みんな満足感いっぱいの笑顔で山を下りました。



### 残念なお知らせ

夏休み中にと3回のキッズチャレンジを計画していましたが、コロナ感染拡大が続いており、児童の皆さんの安全を最優先し、全て中止といたします。ご理解いただきます様お願いします。

## 8月後半 講座・行事・会議予定

- 21日(日) グラウンドゴルフ月例会
- 22日(月) 社交ダンス
- 23日(火) 三味線
- 25日(木) 俳句 絵手紙 三役会議  
小学校5年生防災教室支援
- 26日(金) パソコン 生花
- 27日(土) 良神社若連中会議
- 29日(月) 社交ダンス
- 30日(火) 三味線  
神杉ふれあい祭り実行委員会

## 愛の灯

令和四年七月一日から  
同月末日までに、次の方からご寄付が  
寄せられました。



神杉地区社会福祉協議会へ

《香典返し》

紙面をおかりしまして、  
衷心より厚くお礼申し上げます。

## 9月前半 講座・行事・会議予定

- 2日(金) パッチワーク
- 5日(月) 社交ダンス
- 6日(火) 舞踊 三味線
- 7日(水) 書道
- 8日(木) マイナンバーカード巡回申請サポート
- 9日(金) パソコン
- 12日(月) 社交ダンス 広報紙配布

※その他ふれあい祭り各種部会等が入ります  
※ホームページにもスケジュールを記載しています

### ある日の四方山(よもやま)話

「今頃大人も子どももなかなかあいさつしても返事をせん人がおゆう(多く)なったよのう。」  
「ほんまよう。しいらん顔しとるけえのう。」  
「やっぱり家ん中でもあいさつする癖をつけとらにやあいけんよのう。」  
「家でせんことは、外でもできんよのう。」  
「それに今頃は知らん人とは話をしちやあいけんらしいけえ、あいさつもせんのかよ。」  
「へじゃが、あいさつしとったらちいたあ(少しは)顔を覚えるけえ、防犯にもなるような気がするがのう。顔見知りにならにやあいけんよう。」  
「うちの常会じゃあ、集まりやら地区の掃除の時に子どもを連れてくるけえ、かわいいでよう。ようあいさつもしてくれるんで。」  
「やっぱり地域の子どもは地域でみちやらにやあいけんよのう。」  
「地域の中が明るうなるよのう。」  
「ちょっとしたこと  
なんじゃがのう・・・」



現在神杉小学校では、あいさつ運動を実施し、豊かな心づくりに取り組まれています。

### 山脈句会(7月)

夏祭り氏子の数も減りにけり	夕立に兎ら軒下に駆け込みし	田んぼ干しお玉じゃくしは行き場なし	立ち枯れの大きなトマト愛おしく	白南風やついうたたねの午後3時
中藤 博文	中本 好美	住田東洋男	田原 洋子	広川テル子



### 編集後記

今年度はちよつと順調に進んでいると思っていた矢先の第7波の襲来。大田植は終わつたものの、キッズチャレンジの打ち切り。この先、敬老会に運動会、ふれあい祭り。そして神杉駅開業100周年記念事業等々。秋は盛りだくさん。実施に向けて準備は進めていきます。みんなで盛り上がっていきましょう。  
これからもしばらく続きそうな猛暑と熱中症・コロナ感染症のw対策。休養と栄養もしっかりとってイベントの秋に備えましょう。

### お知らせ

神杉自治会館は、  
8/12(金)~8/16(火)まで  
お盆休みのため休館いたします。